

刊夕 日十二月二

# 常新日新聞

定価 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓  
発行所 常新日新聞社  
印刷所 常新日新聞社

## 霜月寮閑話 (六)

平自警會  
白土五郎

出入の息を調整してしばらくすると無意識の心理状態になることは事實である（これは少し練習すると誰でも出来る）これを客観的に見れば魔酔状態にあると云ふことは強ち無理ではない。現在の如く何から何まで機械に追ひまはされ、イヤ／＼した神経キユ／＼と齒の浮く鐵のひく音、鐵と鐵との觸るゝ音、ヘルトの吐く蒸氣のほひ、頭の前から鋭い爪で掻きむしられるやうな色電燈の光、一刻の餘裕もなしせつこましい生活から脱してしばらくでも恍惚として催眠されるならここに自由の世界がある。ここが宗教の世界でないだらうか、宗教に現実的生活のものがきから脱して自由の世界に出るところに意義がある、即ち相対的有限の存在を突破して絶対者に合致するのだ、そこへ自由がある。主観的——宗教的自由の世界——遊戯してゐるものを相対的有限の世界に戦々としてゐるものから見ると魔酔してゐるやうに思はれる。宗教は阿

片である「然り」それでよいではないか。それに對して何んだかんだと理窟をつけて辨解する必要はない。屁理窟をコネまはすからボロが出るのだ。善因善果、惡因惡果を説いてゐるところは宗教心は起らぬ、宗教心は因果や事實の支配から脱するところにある。宗教的主観は、因果に眼をくれず一足飛びに支那やインドに行つて來たり、地獄極樂を目の前に現したり川の彼方の喧嘩を止めたり走つてゐる自動車を止めたりのことは、朝飯前の茶の子だ。ここが宗教の自由だ。


○無我に就いて  
酒は飲め／＼茶釜で沸せ酒のあがらぬ神はない、と云ふ歌がある、昔から神様には酒を捧げるものとして何處の國の神話にも神には酒はつきものである。宗教のあるところ酒はありと云ふたどて過言でない宗教的心理は相對から絶対への飛躍であつて、酒は最も早く且つ簡単に絶対に行くことが出来る、酔つ拂ひはアルコールに依つて現實的生活の束縛のものがきから自由の世界に飛躍する、常に弱々しく、道徳とか、因果とか、義理とか、人情と

か 生活難とか、乏つた轉んだと云ふし人の前で大きな聲一つ出せなかつた人でも一度酒を飲むと宇宙を吞吐するガイがある。彼の前には何等恐れもない、自我もない道端にへたばつて野良犬に口の邊りをなめられてゐても、彼には無我の自由があるのみ、相對の世界を離れて絶対の世界を逍遙する。  
私は宗教的魔酔状態に落ち入つたこともまた酒嫌いな故に、この相對の世界から離れて絶対の自由の世界を知らない、今迄これらを客観的に見ていろ／＼と批評してゐたが、それではその人達の氣分を分るものではない。  
支那に行つた時阿片を飲んで恍惚としてゐる人々をよく見たことがある。あの人達は阿片を呑むことに依つて生命のとりをれることを知りつゝも、あの恍惚として絶対的無我の仙境である自由の世界から離れることは出来ないであらう。アルコールの中からも阿片の中からも神秘的自由の世界を見出し得ることを何人が否むことが出来る、また酒よりも阿片により宗教的心理をそゝることを迷信として何人が排撃することが出来るか宗教は何等かの方法で

有限 世界から無限の世界に飛躍するところに意義がある。

### 石炭

コークス  
豆炭



阿部石炭店  
電話十七三番

## 胃と腸

胃腸病でお困りの人  
中將湯本舖津村順天堂後  
信頼出来る胃腸薬わかまい

こんな時こそ  
わかまい(若舞)を服用すれば驚く程よく効く  
食後や空腹の時痛む人  
食欲進まず胸やける人  
食た物が再び口に出る人  
常習便秘で通じのない人  
下痢軟便で固まらない人  
食ひ過ぎ 飲み過ぎの人  
食欲増進薬となる責任と  
信頼ある若舞は副作用なし


市内主なる販賣店  
東京 高島屋薬品部  
東京 津村順天堂  
横濱 野澤屋薬品部  
各地 有名薬店  
若しや品切の際は本舖へ  
郵券代付可、送料不取

若舞の効能・定價  
胃腸・胃腸過多症 三拾錢 五錢  
胃腸・急性胃腸炎 五拾錢 九拾錢  
カタル・慢性胃腸 一圓也 三圓也  
カタル・急性不振 一圓也 三圓也  
胃下垂・胃弱・嘔吐 三圓也 五圓也  
消化不良・胃アトニー 五圓也 一〇圓也  
便秘・胃腸後・吐酸 五圓也 一〇圓也  
慢性下痢

發售元 津村順天堂  
發售元 鈴木誠心堂  
東京市本町區本町二丁目一  
番電話東京 六五七四六五二番  
横濱市東區 五八四六四番

### 是非!

御融通には御用命下さい  
萬事便利な御相談に應じます



三井質店  
平。四電六〇六番

### かまぼこ

お惣菜用  
さつま揚  
吉原揚

## 不凍實

平町一丁目  
電話一四一番

### 皆様の足?

尼子タクシーへも豆タクが入りました  
御支關から支關へ 迅速簡便  
是非御利用を

市内 三〇錢  
市外 四割引

流線型セダン  
大型貸切バス

宮行——直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします  
平町二丁目

## 尼子自動車商會

電話六四〇番

### 漁村の悩み深し

## 江名漁組改革で 信組と対立発生か

### 漁民は岐路に迷ふ

#### 今後の進展こそ問題

江名漁業組合は来々六月頃より昭和九年八月一日から實施された改正漁業組合法に依り保證責任漁業協同組合として組織變更の計畫を樹立してゐるが之は現在宮城縣下で盛に論議されてゐる問題で漁業組合が漁業協同組合として更生すれば現在在産業組合が營んでゐる機能とほぼ同じ機能を發揮することになり現在縣下の漁村に漁業協同組合が續々と生れつゝある現状に鑑み漁村に於ける漁業協同組合と既設の産業組合との關係はやうやく注目すべきものになつて來てゐる一方漁民としては既設産業組合に加入して組合費を納入してゐる上に新たに漁業協同組合に加入すれば更に二重の負擔となる上に漁業協同組合の販賣購買および信用事業が活潑になれば既設の産業組合のそれは不活潑となり結局漁民としては二重に負擔して得るところは一つとなつてゐるが漁業協同組合の縣の聯合會が出来更に全國の連絡がとれば従來の産業組合の系統組織と對立することは必然で同じ農林省關係のこの二つの系統が今後如何なる發展を示すか興味ある問題である

## 縣軍人後援會で

### 獎學資金規定を

#### 郷軍遺家族兒童の爲に

軍人後援會縣支會では今回全國最初の試みとして在郷軍人および遺族の獎學資金貸與規定を制定して近く實施することになつた、これは郷軍及び遺家族の中学生生活困窮者にして學校に行けぬものを救済しようといふ趣

づゝ月賦で償還させる方針がある、なほこの貸與審査委員には伊藤支會長諸橋副支會長等委員數名が任命される

### 未納者御注意

### 通話停止

現在未納四八八人

平郵便局の一月分市外電話通話料六百五十四口二千八百

## 三機關庫選手が

### 技術競技會

#### 勝者は聯合競技へ出場

水戸運輸事務所主催で平水戸大子三機關庫の投炭競技會は来月一、二兩日平機關庫に開催されるが當日は平八名、水戸十名、大子二名の二十名が選手として出場投炭技術及び燃焼能率の向上を計りうち六名の優秀選手は東鐵主催聯合投炭競技會に出場せしめると

### 登地橋架替

石川湯本線石住村地内登記橋架替工事は平町堀江工業會社が四千圓で請け、月末竣功の

百六十七圓五十五錢の納期は今日一杯であるが本日午前中迄に納入したのは百六十六圓千八百四圓八十五錢で、大體前月と同成績であるが同局では明廿一日朝を期して未納電話は一齊に通話停止を行ふ

### 竣功検査

#### 石住村字齋鉢地内御齋所峠岩石切擴工事

事は過般來工費一萬圓の直營で施行中であつたがこの程竣功本廿日縣土木課草野技師が検査を終了した

### 入營兵の爲め

### 客車増結

平驛では来る廿二日から廿八日迄關東軍に入營する入營兵の爲め期間中は平、水戸間各列車に客車の増結を行ふと

### 豫定

### 米一時に殺倒

### 愈々氾濫

共販米は約二千に増加既報明廿一日行はれる平農業者庫の共同販賣入札米は昨日迄の申込数が千五百三十三俵であつたが本日締切日迄には千七百十一俵に激増し同倉庫本年最高の大量入札である

### 川部信組總會

川部村信用組合は来る廿三日午

前十時から同村小學校に總會を開き役員改選その他を協議する

### 杉樹競賣

過般の降雪で折れた平町小學校御大典記念林内杉立木中平町舊城跡杉樹四十五本の競賣は廿四日午前十一時から平町役場で行ふことになつた尚入札保證金は百分の五以上である

## 町道改修工事に

### 美はしの勞力奉仕

#### 江名消防組の美譽

江名濱町消防幹部會は十八日午後同町役場樓上に開き同町上神白より下神白に至る道路改修工事が工費不足で竣功難を告げてゐる事情に鑑み之が完成を期す爲一日一人宛の勞力奉仕を爲すことを決議した

### シネマ週報

◇世界館 坂東好太郎 飯塚敏子主演 濡れた捕縄

## 師範二部の 難關突破

磐中關係四名合格 過般行はれた福島師範學校入學試験に磐中より左の四名が合格した尚同校専攻科へ神谷校吉田利徳君が合格した

吉田龜吉 藤田正己 (三十五回卒業) 猪狩功 植田文夫 (五年在學中)

## 男女工見習

### 右至急募集す

希望者來談あれ 常磐毎日印刷會社 長橋町 電話六三〇

美味! 芳醇!

## 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

## お年始に 鯉節



志賀盛榮商 平西丁目(電二三一)

# 絶好の投票日和に 續々と一票行使

## 平町投票場風景

第二次肅正下最後の審判の日——絶好の天候コンディションに恵まれた本廿日の平町投票場は三旬に亘る各候補者の當落に決定的な悲喜交々の双曲線を書き出す日であり各候補者は何れも取らぬ狸の皮算用で何れも當選確實を豫想してゐるが区内有権者の一票行使の結果は何ふした審判を下すか各候補者共気が気でなく平町の投票場は一抹の凄みさへ見せてゐたが深更の星空に寒風を衝いて開場を待つてゐた熱心な有権者の面々は午前七時花火、サイレン警鐘等の合圖で開場と同時にトップの赤札高子教藏氏、二番飯田近治氏、三番三瓶昌照氏、紫札は第一に柴田長之助氏、二番加藤一三氏、白札一番鈴木勝彌氏、二番石山隈雄氏が夫々投票此處に候補者の運命を決する投票は開始され時刻毎の投票数は七時より八時(三〇七票)九時より十時(五五七票)十時より十一時(一八四二票)正午現在で(二二二二六票)の投票数を見て早くも開場から五時間全有権者の約半数に垂んとする数字を數へて定刻の六時までに全部の投票を終了すべく棄権數も當局の徹底的宣傳の結果割に少ないと見られ選ばれる者の最後の杞憂を他所に肅正下嚴肅な一票行使は遂行された

### これは熱心に 夜中から頑張る

一時に押かけた高子氏  
平町投票場は今晩極寒の間を衝いて午前一時赤札の高子教藏氏が早くも押しかけ開場をまつのに次いで同三十分赤札の飯田近治氏二時には紫札の柴田長之助氏同加藤一三氏が押しかけ

時二十分には白札の鈴木勝彌氏同井分白札石山隈雄氏同五十分赤札の三瓶昌照氏が續々押しかけて寒空にふるい乍ら開場を待ち熱心な様子を見せてゐた

### 好問小學兒童 投票當日

肅正旗行列  
好問村小學校兒童四千五百名は本廿日の投票日に選舉肅正の旗を夫々手にして村内を練り歩き有権者の注意を喚起した

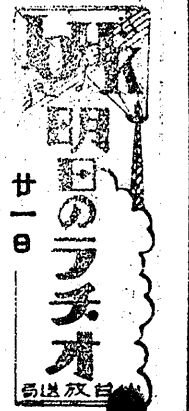
### 電報を電話速報

#### 電話托送を開始

平局が二月から實施  
電話加入者への便宜上托送電報を取扱つて居る平局では新サービスとして電話加入者宛に來た電文の内容を直に電話に加入者へ知らせる電話托送を三月半頃から實施すべく計畫を進めて居るが是には加入者の了解を得る必要があるので近く希望者を調査する筈である

### 一通話五錢に 料金値下

平草野間三月から  
平草野間局間の市外電話料は距離の短かい平湯本間の通話料五錢に比し従來十錢宛を徴收されて居たので關係方面より料金値下運動を申請して居たが遂



明日の予知

### 今晚の部

- 後六、〇〇 童話劇「その後ののらくろ」
- 長谷山雅菊音楽會
- 後六、五〇 趣味講座「選舉異風景」尾坂與市
- 後七、三〇 講演「積雪の話」鷲谷龍雄
- 後八、〇〇 箏曲 宮崎春昇他
- 後八、二〇 長唄「連獅子」

### 明日の部

- 前七、〇〇 現代語講座「文學(主として)歌謡に現はれたる現代語の動き」加藤順三

### 平町豫算内示

平町  
十一年度歳入出豫算内示會は廿四日午後一時同町會議室に開き協議する

### 坑内落盤で 一名即死

他は瀕死の重傷  
昨十九日午後五時頃好問村古河炭礦第二新斜坑内に落盤採炭夫柏倉昇(三)は即死、五十嵐照雄(三)は腰部に全治二ヶ月の重傷を負つた

### チヨン鬚姿 怪老人が怪氣焰

全國遊歴の旅に三十年  
篠山校長と易問答  
今廿日午前十時頃平第一小學校に丹前姿に腰に木刀を打込んだチヨンマ

- 前七、三〇 朝の修養「莊子の教」松村介石
- 前九、〇〇 家庭メモ
- 前一〇、三〇 母の時間
- 「高等教育を受けた婦人と結婚及び家庭生活」越智さよ
- 後〇、〇五 琵琶「肉弾三勇士」水戸芦操
- 後二、四〇 小學生尋六の時間 地理「ブラジルと我國」梅原三郎
- 後三、一〇 教師の時間
- 近世教育思潮講座(六)
- 「デュロイの教育學說とその我國への影響」太瀬甚太郎
- 後五、三五 爐邊物語(三)
- 「最上卅三觀音船禮」

原稿資料募集のため全國を遊歴の旅に上つてゐる由で八門頓甲の易學に造詣深く四書五經を全部暗記してゐるといふ奇人で旅の友、稱する廿餘冊の和帳に全國の町村長學校校長、警察署長、長官の署名してあるのを掲げ怪氣焰をあげてゐたが篠山校長は同老人と易問答を交し大いにその意氣に感銘し持參の帳面に靈魂鮮かに「祈仙客包義翁健在」と揮毫して壯途を祝した同老人は平町には十年前五年前とに訪れたことあり三度目の來訪である

生村字上の町四四佐々木平吉氏四女佐々木ヒサ(三)さんで事情あつて來平日下橋樋小路一下宿屋中村屋方に止宿中で事情を訊ねても福島なまりで「こうだ事を褒められて反つて困る云々」と謙遜して深くは語らなかつた

### 美談の主 身許判る

謙遜して多く語らぬ  
床しい旅の一女性  
十八日附本紙所報の曉の街路を清掃する美談の主について同記事に感激した一讀者が苦心の末同身人の身許を確めた旨本社に投書を寄せたが同婦人は信夫郡大笹

### 藪中の賭博 一網打盡

またも小名濱で  
小名濱町西町最光院地内藪中に十九日午後三時頃魚船乗船賣等が車座で十賭博開張し居るを平署布施刑事等が現場に踏み込み同町西町竹細工商齋藤清一郎(三)同町中島沖見町鈴木次郎方志賀一造(三)同町竹町田邊末松(三)同町屋敷谷高松(六)泉村大字瀧尻佐藤幸之進(五)の五名を一網打盡に逮捕した



# 結る瓦解の謎

（著上原上）  
丸尾至陽（著）



五二 評定所呼出し  
桂小五郎は内田萬之助の死体をだき起して  
小「あれほど申し聞けたにとうとう死に居つたな、あの残念なことをいたした、これ見ろ伊藤、内田は死に居つたぞ」  
伊「残念なことをいたしたこれ内田……」  
と叫んだが何の應へもない、時、桂が  
小「ハテこれから何うしたものかな」  
伊「このやうなことを秘密にしたして置くことはなるまい、早速目付へ届け出てたがよろしからう」  
といつたを、成程このことは隠すことは出来ぬ、そこで桂より藩の目付は醫師をつれてこれへ馳けつけて検死をいたし、それから留守居役よりこの事を幕府に届け出た、幕府よりも検視がおりに死体を調べた上千住の刑場に送つて埋葬いたした、次に幕府では内田萬之助の所持した居つた斬奸状によつて安藤候をおそひし浪士の一人といふことも判り、またそれが長洲の家臣桂小五郎の許に来て有備館へ割腹した



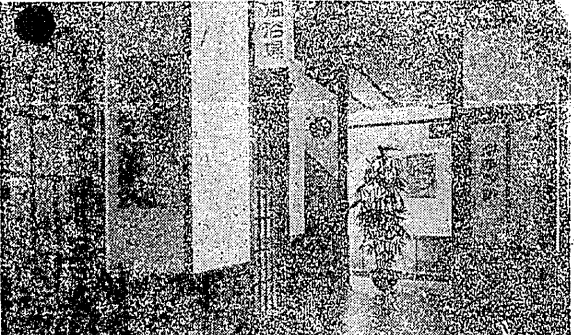
この點については長洲の家臣の内にも同意者があるに相違ない、何等の縁故もなき者へ内田がたづねて行く譯がないとかう思つた、そこで桂小五郎に伊藤俊輔を辰

お目付永見貞之丞、奥御着筆彦坂能登守その他評定所留役ただ今の書記です、これらが列席いたす、柱に伊藤は椽側に着座して頭をさげてゐる、やがて石谷因幡守は二人に向ひ  
石「毛利大膳大夫家來、桂小五郎、伊藤俊輔、面を上げろ、去る正月十五日坂下御門外に於いて重きお役人に狼籍を働かし水戸浪士共それに加參いたせし内田萬之助は毛利邸なる有備館にて自殺いたしたが、うけたまはると其方共兩人何かと

小「お尋ね故申し上げるが内田萬之助とは一面識もござりませぬ、十五日四ツ過ぎ自分方に罷り越し止みがたき仔細ある故これにて割腹いたす、見届けくれいと申しましてござる、これを承はり此奴狂人ならむと存じまして小屋より引き出し、有備館に閉ぢ込めおきましたるところ自殺仕りました、その後安藤對馬守様へ狼籍をいたしたる浪人共の一人と承はり驚き入りましてござります」  
と答へた、すると石谷が石「控へろ、内田は狂人ではないぞ其方のもとに參りしは縁故あはばこそ、また何等の縁故なき者ならばこれを捕へて早速係り役人に引き渡すべきに自殺なさしめたはその方共の助けによるところであらう、察するにその方共は内田と同意であるな」  
と云ひました、すると伊藤俊輔はズイと膝を進めて伊「これはお奉行の仰とも存じませぬ、内田の自殺いたしましたは一舉におくれたるは武士として存命いた

看護婦急派  
求めに應じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七

し居るは恥農と存じよつて自殺いたすと申しました、それをかたく止め目付に届け出ましたその内に内田萬之助に自刃いたしましてござる、たゞ今も桂が申したる如く、彼の内田は未知の人なれども彼の心中を察しなると誠に哀れに存せられ武士としての待遇を與へました、重きお役人に狼籍いたせし其の者共の一味とあらば捨て置くこともならず、直に目付に届け出て、彼に繩打つて公儀へ引渡さんと存じましたる處自殺いたしましてござる』と申しました



木村病院  
平町新川町十九  
電話一六四番

藤沼醫院  
平町・紺屋町  
電話五〇七番

小瀧へ!!

◆宿泊料	1.50 2.00 2.50
(御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)	
◆日歸浴席料	.20
◆自炊	.50-.80
◆料理一定食	.80 1.00 1.50

(その他一品料理洋食)

◆湯 効 神 經 痛、リウマチス、胃腸病、痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病 (内務省東京衛生試験所認定済)

◆諸 設 備 撞球臺、高級ラヂオ、大廣間讀書室、近代式浴場と洗面所、水洗式便所、小動物園、タクシー御子様運動器具

◆名 物 川魚料理(うなぎ、鯉、蜂蜜羊かん)

●女中數名入用●

常磐線湯本驛 小瀧鑛泉  
御旅館 瀧の湯  
御自炊 電話 (小名濱) 109番

木村外科醫院 専門

外科科 一般  
内科科 一般

金成醫院  
平鎌田町(電三五八)

電話三〇九番  
平町六丁目橋際

平會館

平町六丁目橋際  
電話 624